

## 1 研究構想

### (1) 研究テーマ

学校教育目標の実現に向けた探究的活動の充実  
～社会とつながる学習の実現を目指して～

### (2) テーマ設定の理由

学校教育目標「イノベーション力の育成 ～予測困難な時代が来ても、それを乗り越えるために必要な力を育むために～」を実現するために、探究的な活動を充実させることが重要であり、探究的な学習活動を社会と結び付けることが、これからの社会を生きる子供たちにとって必要な経験であると考え、テーマを設定した。

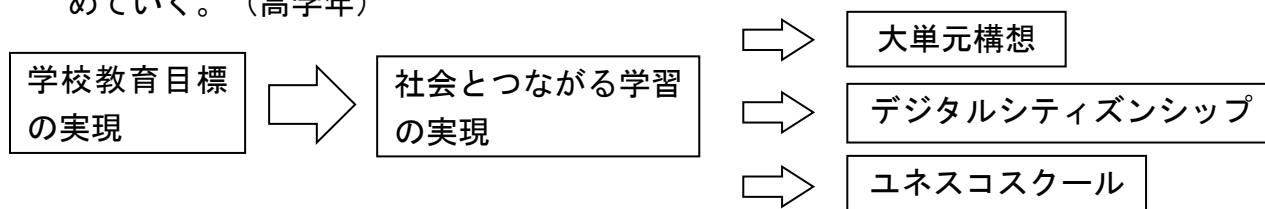
### (3) 研究仮説

教科横断的な大単元を計画し実践することで、児童に「新しい価値を創造する思考力」や「より良いものを目指そうとする態度」が身に付くとともに「自分の自信につながる経験」が蓄積され「イノベーション力」が育成されるであろう。

### (4) 全体構想図

総合的な学習の時間の中で社会とつながる探究的な活動を実施する。

※ユネスコスクールとして社会貢献となるテーマを、子供の興味・関心と結び付け決めていく。(高学年)



## 2 研究内容

### (1) 取組

①大単元構想：教科横断的な単元構想（児童に学びのハンドリングを任せる）

解決したい問いについて、自分自身で計画を立て（計画期）、実際にやってみて、試行錯誤し（実践期）、出た結果を発表する（プレゼン期）という3部構成で行う。



4年:雨プロ（実践期）



5年:推して埼玉（プレゼン期）



3年:地場産物紹介（プレゼン期）

## ②デジタルシティズンシップ：デジタル技術の利用を通じて社会に積極的に関与

本校ではデジタルシティズンシップ教育のねらいを、「受信」と「発信」をバランスよく学ぶこととしている。探究的活動で得た情報や自分の考え等を、相手（受信者）意識をもって発信するために必要なことを、大単元構想のプレゼン期を通じて学んでいく。ここではICT機器を活用しながら、発信するためのスキルと、発信に必要なコミュニケーション力を学んでいる。



4年:雨プロ（計画期）



4年:雨プロ（計画期）

## ③ユネスコスクール：自己実現から社会貢献へ

ユネスコの理念に共感し、学校教育におけるあらゆる面にユネスコの理念を位置付けている。SDGsへの積極的取り組みや各種募金活動、大単元構想における社会貢献など、児童一人一人が他者を認め、尊重し、多様性を受容する人権感覚に優れ、寛容な児童の育成に努めている。

★4年生と一緒に授業を伴走してくださっている水ジャーナリストの橋本淳司さんが本校の取組をヤフーニュースで取り上げてくださいました。

以下に記事のリンクを掲載します。

<https://news.yahoo.co.jp/expert/articles/02f3dc6bce6f4d5e4e6a6e64e957652590bd5254>

記事を読んだ被災地（七尾市）の人からのコメント

～前略～

私たちこんなことを話しています。

「元の生活に完全に戻ってしまわないうちに、雨水活用などを暮らしに定着させたい」と。久喜小の子たちに負けずにがんばります。

水道のありがたさを痛感すると同時に、それとは違うルートの水へのアクセスを覚えてグレードアップした私たち。井戸を復活させた人たちもいますし、山水を活用するようになった人たちもいます。

～後略～

※本校の取組が被災地に届き、温かいコメントを頂きました。



落ち葉掃きボランティア



能登半島地震災害募金活動

(2) 児童の意識（アンケートより：イノベーション力がついたと思うことは何ですか）

- ・自分の考えを分かりやすくつたえられるようになりました。
- ・今まであまり挨拶ができなかったけど、積極的に「進んで挨拶をします。」を覚えて最近よく挨拶していると思えてきました。
- ・自分に自信がつくようになった。
- ・友達と協力しあったり友達の意見を取り入れてより良いものにしたりしたと思います。
- ・学習の時間と、遊ぶ時間を自分で考えられるようになった。

### 3 成果と課題

(1) 成果

- ・総合的な学習の時間の授業時数を増やしたことで、探究的活動やゲストティーチャーを招いて話を聞く時間（本物に触れる時間）がたくさん取れるようになった。
- ・探究的活動に対して、児童たちが自ら積極的に課題解決に向かって学習する姿が増えた。
- ・探究的活動の過程において、その道のプロと関わる時間がもてたことで、児童の課題解決への意欲が高まるとともに、教師も新たな思考の視点（思考のヒント）を持つことができた。

(2) 課題

- ・総合的な学習の時間の時数増を補う、他教科の時数削減についてどの教科が適当であるかが、探究的活動の内容により変わるので、減らす時数と内容をより吟味する必要がある。
- ・明確な目標をもった探究的活動とするための大単元を、児童の実態に応じてどのように設定していくか。

### 4 その他

- ・本校研修サイトURL

<https://sites.google.com/g.kuki-city.ed.jp/kukisho-2023-model>